

令和6年6月1日号

広報ちはら台へ掲載しました

AYA世代のガンについて

千葉ろうさい病院

がん化学療法看護認定看護師 岡本 友香

皆さんはAYA世代という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか？15歳から39歳の思春期・若年成人の世代を指し、Adolescent and Young Adultの頭文字をとって“アヤ”と読みます。

現在、AYA世代のがん患者は2万人、全体の2%程といわれています。がんは生活習慣病でもあるため、長期間をかけてがんになることが多く、高齢者の病気というイメージがあるかもしれませんが、AYA世代の罹患率は数パーセントという数字ですが、決して特別な病気などではなく、誰にでも発症する可能性があります。

この年代は、中学生から大学生、社会人、結婚や子育てなどライフステージが大きく変化します。そのため、学業や部活動、友人との付き合い、就職、恋愛、妊娠、出産などの様々なライフイベントに直面する中で治療していくことが特徴です。本人が大切にしていることを周囲の人たちと共有し、目標を一緒に立てながら生活を送ることができるような支援が必要となってきます。がんという病気が高齢者の病気だと思わず、若い人たちもがんになる可能性があるということを知ってほしいと思います。そして、もし、自分や周囲の人ががんになってしまったときに、正しい知識をもつこと、相談する窓口を知ることが大切です。地域のがん診療連携拠点病院には、“がん相談支援センター”が設置されています。どなたでも無料で利用できるがんに関する相談窓口です。悩んだ時には、一人で抱え込まずに相談してください。

ろうさい病院便り
第44号
AYA世代のガンについて
千葉ろうさい病院
がん化学療法看護認定看護師 岡本 友香

皆さんはAYA世代という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか？15歳から39歳の思春期・若年成人の世代を指し、Adolescent and Young Adultの頭文字をとって“アヤ”と読みます。現在、AYA世代のがん患者は2万人、全体の2%程といわれています。がんは生活習慣病でもあるため、長期間をかけてがんになることが多く、高齢者の病気というイメージがあるかもしれませんが、AYA世代の罹患率は数パーセントという数字ですが、決して特別な病気などではなく、誰にでも発症する可能性があります。この年代は、中学生から大学生、社会人、結婚や子育てなどライフステージが大きく変化します。そのため、学業や部活動、友人との付き合い、就職、恋愛、妊娠、出産などの様々なライフイベントに直面する中で治療していくことが特徴です。本人が大切にしていることを周囲の人たちと共有し、目標を一緒に立てながら生活を送ることができるような支援が必要となってきます。がんという病気が高齢者の病気だと思わず、若い人たちもがんになる可能性があるということを知ってほしいと思います。そして、もし、自分や周囲の人ががんになってしまったときに、正しい知識をもつこと、相談する窓口を知ることが大切です。地域のがん診療連携拠点病院には、“がん相談支援センター”が設置されています。どなたでも無料で利用できるがんに関する相談窓口です。悩んだ時には、一人で抱え込まずに相談してください。

ろうさい病院 無料送迎バス
通院に便利な無料バスを運行しております。(ろうさい病院で乗車または降車の方は限りません)詳細は、ちはら台自治会連合会のホームページをご覧ください。

